



城山から見た桜島（鹿児島地区会 四元 一右）

低気圧・高気圧

2024年10月14日、長崎市にオープンした「長崎スタジアムシティ」。オープン前日には、地元出身の福山雅治さんがこけら落としのフリーライブを行ったことも全国ニュース等で報じられました。なんとこのライブ、全国から53万人を超える応募があったそうです。この「長崎スタジアムシティ」を手掛けたのは、テレビ通販でおなじみジャパネットグループで地域創生事業を担うリージョナルクリエイション長崎。場所はJR長崎駅から徒歩10分ほどで、総事業費は約1,000億円にも上ります。「長崎スタジアムシティ」は主に、①プロサッカーチーム「V・ファーレン長崎」の本拠地である「ピーススタジアム」（収容人数約20,000人）②プロバスケットチーム「長崎ヴェルカ」の本拠地でもあり多目的アリーナの「ハピネスアリーナ」（収容人数約6,000人）③スタジアムに隣接するホテル「スタジアムシティホテル長崎」（243室）から成り立っており、その他オフィスビルやショッピングモール（約80店舗）などが約7.5ha（東京ドーム約1.5個分）の敷地の中に、その名の通り「シティ＝街」のように配置されています。

開業から1か月で約55万人が訪れたそうで、平日でも約1万3,000人が来場する盛況ぶりです。スポーツを中心に、買い物から宿泊までが全て叶う場所であり、日本各地の地方創生のヒントに満ちた複合施設であること。これこそが「長崎スタジアムシティ」最大の魅力と言えるでしょう。まさに、何度訪れても毎回違う角度から楽しめてしまう魅力に溢れた「街」。西日本で今最注目のスポットにぜひ足を運んでみて下さい。

（長崎地区会 笠戸 智仁）

時代を問わず愛される鹿児島島のシンボル「桜島」。北岳・南岳の2つが合わさる複合活火山で、今も噴煙を上げ灰を降らせている世界的に珍しい火山です。

昭和29年に県の名勝に指定されています。

contents

新年のご挨拶	2
全国統一研修会の報告	3
会員のひろば	7
システム委員会だより	13
偏西風・編集後記	19

明けまして おめでとうございます

九州ミロク会計人会 会長 笹田 毅



九州ミロク会計人会の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は当会の活動に多大なご協力を賜りましたこと深謝申し上げます。特に昨年11月に開催されました第48回全国統一研修会東京大会に、九州ミロク会計人会から66事務所、106名の参加を頂き第47回大阪大会を上回る結果となりましたこと、重ねて御礼を申し上げます。

インボイス制度や電子帳簿保存法の対応に追われて、早いものでもう一年が過ぎました。しかし税理士業務のDX化はこれで一休みとはならないようです。令和5年6月に国税庁が公表した「税務行政の将来像2023」によれば、従来の「納税者の利便性の向上」と「課税・徴収事務の効率化・高度化等」に新たに「事業者のデジタル化促進」を加え税務行政のDXをさらに進めていくとされています。その中で税理士は国税局と連携・協力を図るとともに、税理士業務のICT化を推進すると記されています。国税庁のDX推進に、勝手に税理士が組み込まれたことに一税理士としてはチョット違和感を覚えます。しかし、この1月から申告書等の控えに収受日付印の押捺は行わない等、税務行政は抜本的に見直されています。一税理士としても対応せざるを得ません。

九州ミロク会計人会は(株)ミロク情報サービスと連携し、また各委員会活動を通し、会員事務所のICT化からDX実現に寄与できるようサポート体制を強化し情報提供に努めます。今年も会員皆様のお力添えをお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

MJS 執行役員
九州沖縄圏統括部長 鈴木 和人



新年、明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になり、社員一同心より御礼申し上げます。

さて、「第48回全国統一研修会 東京大会」には、九州会からも多くの先生方にお集まりいただきまして、無事終えることができましたことをあらためて感謝申し上げます。

昨年は、インボイス制度開始から1年が経過し、記帳代行業務の負担が増えたと感じられた事務所が多かったように思います。また自計化が業務効率化につながる手段と認識されていても、実際にはあまり進んでいないのが現状です。このような状況の中でAI仕訳、AI-OCRが顧問先の会計の自計化促進のツールとして注目を浴びました。

MJSといたしましては、本年も〃会計事務所に迫るデジタル化と顧問先の自計化、のための取り組みを強化し、サポートをしていくことを含め、更なるサービスの向上に努めて参りますので、より一層のご支援、お引立てを賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

歴史に学び つなげよう未来へ！

令和6年11月14日(木)に第48回全国統一研修会東京大会が東京都千代田区のホテルニューオータニ東京にて開催されました。

今年の全国統一研修会は、「歴史に学びつなげよう未来へ！」といったサブタイトルでした。

当日の式典・基調講演には、全国から約1,100名の方が参加されました。また、同時に郷土物産展も盛況に開催されていました。

まずは、午後1時からの式典にはじまり、午後2時30分からの作家・歴史家の井沢元彦氏による「通貨と財政から見た逆説の日本史」と題した基調講演へと続きました。



基調講演 井沢元彦氏

最初に、日本最大の特徴は天皇である事を述べられ、世界では王朝交代があるが、一方で日本は、奈良時代あたりで天皇は神の子であるというルールが確立され、他の国とは違う万世一系であると説明されました。

次に、通貨へと話題が移り、古銭を中国から大量に輸入していた事や日本製の寛永通宝、重さの単位としての貫、銅貨の単位としての文、幕末に金貨が大流出した話をされました。



第1分科会 藤森恵子氏



そして、日本は世界にないユニークな国で特に木造建築の文化は日本のみである事を述べられました。世界はレンガ造りで、地震に弱いといったデメリットがあり、例として日本のレンガ造りが関東大震災で全滅したというエピソードを話されました。

さらに、財政の話として、租・庸・調、三世一身の法、墾田永年私財法、荘園、地頭につき、ご自身の意見を交えて解説され講演が終了しました。特に荘園について脱税のしくみであるといった意見を述べられ、非常に興味深く拝聴させていただきました。

次に開催された分科会は、次の3つでした。

第1分科会

「会計事務所の未来を守る DX 戦略

～徹底解説:RPAを活用した業務改善からAIまで～」

ASIMOV ROBOTICS 株式会社 代表取締役 CEO
公認会計士・税理士／デジタル庁 有識者委員／MBA
藤森恵子氏

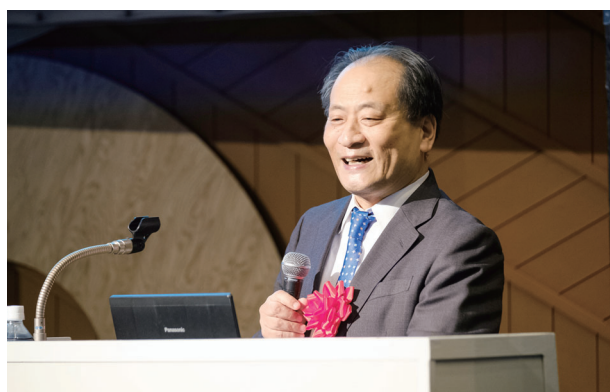
第2分科会

『企業探検家が語る

「中小企業の生き残り戦略と事業承継」』

摂南大学経済学部経済学科 教授

税経システム研究所・経営システム研究会座長
野長瀬裕二氏



第2分科会 野長瀬裕二氏



第3分科会 天達武史 氏

第3分科会

「異常気象と災害への備え」

気象予報士 天達武史 氏

私は、第1分科会に参加させていただきました。まずは、会計事務所をとりまくテクノロジーの進化につき解説がありました。

次に、会計事務所に大きなDX効果をもたらすRPAについての話があり、RPAとは、パソコンの「単純な繰り返し作業」、もしくは「ルールのある複雑な作業」について人の動きを覚えて正確、高速に実行してくれるソフトウェアであるとされ、会計事務所業務がRPAとの相性が抜群な業界であると述べられました。

例として「電子申告ロボ」、「電子申告データ作成ロボ」等を紹介されました。また、RPAの導入から活用までの全プロセスとその課題についても述べられ、実績のあるロボットのメニューから選択する事で迷わず導入が可能であるとされました。

その後、会計事務所業務と生成AIの話、DXにより登場した新しいタイプの会計事務所、会計事務所の未来を守るDX戦略についても話され、最後に顧問先のDX推進に税理士が果たすべき役割を述べられて第1分科会は終了しました。

自分自身の事務所業務を考えさせられるよいきっかけとなり、大変勉強になる有意義な分科会でした。

懇親パーティでは、大会実行副委員長の栗原正幸氏による開会挨拶があり、来賓紹介ののち、千葉県税理士会会長の茂木浩氏による乾杯へと続けました。

乾杯後は、おいしい料理・お酒をいただきながら、全国の会員並びに関係者の方々と親睦を深め、途中、中国獅子舞いが登場する等の催しもあり大変素晴らしい会となりました。

最後に、来年広島で開催される全国統一研修会に



懇親会



横濱中華學院校友會による中国獅子舞

ついて中国ミロク会計人会の中畝將博実行委員長が中国ミロク会計人会を代表してPRされ、中国ミロク会計人会会長の清水俊介氏と東京会会長の小山内光雄氏による締め挨拶で本大会の幕を閉じました。

翌日は、懇親ゴルフ大会や記念旅行に各自参加された事でしょう。

来年の広島大会は令和7年10月9日（木）開催との発表もありました。来年の広島大会でも多くの盛り上がりがある事を期待しています。

(福岡地区会 古賀 照章)

記念旅行に参加して

11月15日8時40分ホテルニューオータニ東京正面玄関前を2台の貸し切りバスは出発した。

毎年のこの記念旅行は、いつかは行ってみたいところ、一度は泊まってみたいホテルを揃えていただける、実にありがたいツアーなのです。

今回は、「3日間ずっと富士山が見える旅行」ということになっていたのだが、朝から雨。「せっかくの旅行なのにねえ…」という声に「引率の竹内部長と私はスーパー晴れ男ですから大丈夫ですよ」と笑ってバスに搭乗し、一路中央高速を西へ向かったのです。

程無く車窓からの風景は、右に府中競馬場、左はビール工場となりユーミンの歌のようにこの道はまるで滑走路、とはいかず現実には雨の渋滞、うーん大丈夫と言ってしまったが、さすがに今日はダイジョバナイかもしれん。

山梨県リニア見学センター



バスは大月インターを左に折れて雨上がりのリニア見学センターへ、あいにく当日は走行試験の無い日だったらしく時速500kmを観ることは

できませんでしたが流麗な展示車両の中のシートに座ってみることができました。意外にスパルタンな感じでした。

その後一行は富士山の麓を目指し、「この辺りから富士山が見えるはずですが」とバスガイドさんの言うとおりあら不思議、見えたじゃないですか立派なお姿。笠を被っています。後で調べたところ、この雲は「はなれ笠」というらしいです。縁起が良いとか。

富士山レーダードーム館

かつて富士山山頂にあった施設を富士吉田市に移し一般公開している。気象衛星ができる前は全国の気象予報の要だったそうです。施設の中では「山頂寒さ体験」の部屋があり、山頂のブリザードがどんなものかを感じることができました。

北口本宮浅間神社

富士山ゼロ合目からの登山はここがスタート地点。祭神はコノハナサクヤヒメ、ニニギノミコト、オオ



ヤマヅミノカミ。歴史を感じる立派な神社でした。

浅間茶屋にて昼食

浅間神社の隣にある、高級そうな茶屋。山梨名物の「ほうとう」定食をいただきました。本場だけあってコクがあって柔らかく、合わせみその具合がとても良かったです。

忍野八海

富士山の湧水群。多くの外国人観光客が水の透明度に感心している様子でありましたが、オーバーツーリズムという言葉が頭の中を行ったり来たりしてしまいました。

午前中の都内での交通渋滞の影響で予定が少し押していたため、上記の観光を早めに切りあげ50Km先の箱根に向かいました。



箱根小田急山のホテル

山のホテルがある箱根芦ノ湖に着いたときは既に夕闇であったため周りの景色を見ることもなく、少し休んで夕食をいただきました。それにしてもこの建物は山小屋風の内装にして且つ重厚なつくり、以前はチロル風のヒュッテだったような記憶がありますが、なかなか立派なホテルであります。もともとは三菱の岩崎家の別荘だったらしく、なるほど良いロケーションです。



さて箱根と言えば温泉です。温泉宿の客のルーティンは、到着即温泉、就寝前の温泉、朝めし前の温泉、私はこれを「ワンセット」と言いますが、これをこなした朝食後、爽やかな空気の中で富士山が見える庭園を散歩して、本当に気持ちがりフレッシュしました。

箱根駅伝ミュージアム

11月16日最初の観光は、芦ノ湖畔、箱根駅伝往路ゴール近くにある箱根駅伝ミュージアムの見学、箱根駅伝の歴史をつぶさに見ることができます。

さあ、山を下りて次の宿泊地横浜へ向けて出発です。歌の文句に「箱根の山は天下の険 函谷関も物ならず」とあるように紅葉の狭い溪谷をひたすら下ります。この道を駆け上る駅伝の選手がいることが信じられません。人間が訓練するということは、なんというか、凄いことですね。



鈴廣かまぼこの里

坂を下り終わるとそこは小田原です。小田原と言えば、かまぼこ。たくさんのお土産を買って、昼食は老舗のだるま料理店でいただきました。

午後は、湘南海岸を通して大磯、茅ヶ崎、江の島、稲村ヶ崎、由比ヶ浜、逗子、葉山、横須賀、そして横浜に到着です。

横浜ロイヤルパークホテル



このホテルは横浜ランドマークタワーの50階以上が客室になっているようです。私の知る横浜では、この辺りは波打ち際だったようなあとと思いつつビル街となった「みなとみらい」を散歩してホテル別棟の夕食会場に入ります。

夕食は仏料理の懇親パーティー。今回の統一研修会主催の東京ミロク会計人会小山内会長さんから歓迎のスピーチをいただき、プロマジシャンのマジックショーに驚愕し、そしてもうひとつ竹内さんがこのタイミングで横浜中華街名物中国少女のかぶり面

で登場し会場を沸かせました。毎回ユーモアに富んだ変身を見せてくださって、旅行参加者全員がこれを楽しみにしていたのです。残念ながら定年により今回は最後ということで、寂しいですが、仕方ありません、今までありがとうございました。

こうして楽しい二日目が終わわり、あとはゆっくり寝るだけの状態で気になることが一つ、ホテルでの我々夫婦の部屋が54階であり、そんな超高層の階上で寝たことがなく、少々不安ではありました。結果ですか？ちゃんと寝落ちしていました。

東京へ

11月17日最終日は、ホテルがある横浜みなとみらいから横浜ベイブリッジを渡り、羽田空港の地下トンネル、お台場から



レインボーブリッジを通過して増上寺へ、宝物展示室を見学し本殿でお参りの後、日本オリンピックミュージアム、聖徳記念絵画館と回り、紅葉しはじめた神宮外苑の銀杏並木に大都会の秋を感じました。

その後皇居外苑楠公レストハウスにて昼食をいただき、最後に日本銀行貨幣博物館を見学。ここで学んだことは、日銀が発行し、回収する紙幣の差額の毎年約120兆円もあるということ、国民一人当たり100万円の現金が、各個人の財布やタンス貯金等になっている。いやはや本当の意味のキャッシュレス社会は、まだ当分先の話なのだなあと考えさせられました。



東京駅

そして最後の最後、15時に東京駅丸の内北口にて解散となりました。

竹内部長さんをはじめミロク情報サービスの皆様、JTBの皆様そしてこの旅行に参加された会員の皆様、たいへんお世話になりました。お蔭様でとても楽しい三日間でした。感謝申し上げます。

(北九州地区会 大久保 昌逸)

北九州地区会 親睦ゴルフコンペ開催

まさか優勝できるなんて！

日ごとに秋の気配を感じる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

秋といえば、スポーツの秋です。令和6年9月27日（金）に北九州地区会の親睦ゴルフコンペが小倉カンツリー倶楽部で開催されました。当日は天候にも恵まれ、事故も怪我もなく楽しくプレーをすることができました。

当日は、いきなり池越えのアウトスタート。私は松尾先生と宮本支社長とご一緒させていただき、上級者のお二人に迷惑をかけないようにと若干緊張した中でのスタートでした。宮本支社長のおはようバーディーを横目にダボスタートの私は何とかお二人について行く感じで、地味に耐えるゴルフを展開しました。松尾先生のアプローチはベタピン、宮本支社長はパー4をワンオン狙いするなど、お二人のプレーに圧倒されるばかりでしたが、感じの良いキャディーさんや運にも恵まれ、



あまり面白味の無い平凡なスコアでしたが、とても楽しくプレーすることができました。そんな私がまさか優勝できるなんて夢にも思っていませんでしたが、ダブルペリアに救われたというところでしょうか。

親睦ゴルフコンペの開催にあたり、ミロク情報サービス北九州支社の皆様にはたくさんのご苦労があったと思います。皆様のご尽力に感謝いたします。

九州ミロク会計人会北九州地区会のゴルフは楽しい先生方ばかりです。今後も親睦ゴルフコンペの開催を楽しみにしております。

（北九州地区会 青山 洋平）

ボウリング大会開催

忙しさを忘れてリフレッシュ

昨年は思うような結果が出せず散々でしたが、令和6年12月5日（木）に開催されたボウリング大会では、優勝という結果をいただけてとても嬉しく思っています。今回は、私が事務所に入社してから2度目の参加でした。狙っていましたが、本当に優勝することが出来ました。

この大会は普段仕事で忙しくしている職場の仲間と一緒に楽しむ機会でもあり、他社の方々とも交流できる貴重な機会でもあります。私自身とても楽しみにしており、大会もとても和やかな雰囲気の中で進んで行きました。ただ私自身、少しだ



け本気モードで臨んでいました。また念願叶って頂いた優勝賞品は、とても豪華な品で、家族もみんな大喜びでした。

練習では、自分なりにフォームを意識したり、スベアの取り方を工夫したりと、特に苦手な10番ピンの攻略法を一つずつ試しながら、少しずつ自信をつけていったのが良かったと思います。当日は「みんなで楽しもう！」という気持ちを大切にしつつも、「ここぞ」という場面では集中力を発揮できたのが結果につながったのかなと感じています。優勝には、本当に驚きましたが、同時に周りからの温かい拍手や祝福の言葉がとても嬉しかったです。来年の大会でも連覇をできるように練習に励みたいと思います。

いつも、豪華な景品のご準備と、このようなイベントを企画、運営していただいている九州ミロク会計人会の皆様、及び、株式会社ミロク情報サービスの皆様のご尽力には感謝申し上げます。

このようなイベントは普段の仕事の忙しさを忘れてリフレッシュできて、新しい交流が生まれる素晴らしい機会だと思います。是非、今回参加できなかった皆様も来年は参加していただきたいです。

（北九州地区会 山田 広之）

福岡地区会 バスハイクを開催

美味しい料理と地元のお酒を堪能



令和6年10月26日（土）、東会長をはじめ、MJS 福岡支社も含めて総勢 44 名が参加して福岡地区会のバスハイクが開催されました。前日までの天気予報では雨が心配されましたが、当日になると曇りながら暑くも寒くもなく行楽日和となり、博多駅を出発しました。

今年の目的地は佐賀県唐津市です。福岡都市高速道路を経由して1時間半ほどで唐津市に到着し、まず唐津焼窯元「鏡山窯」で唐津焼の絵付けを体験しました。予め素焼きされた湯呑にそれぞ

れ思い思いに絵付けをしました。新窯で焼成後の出来上がりが楽しみです。工房の近くにギャラリーも併設しており、落ち着いた唐津焼の作品を堪能しました。

昼食は呼子町の加部島に渡りその最北端にある活魚料理「かべしま」で生きイカ料理です。1階のレストランは多くの人が順番待ちをしていましたが、我々は2階の座敷でゆっくりといただきました。イカをはじめとする地元産の魚介類や佐賀牛など食べきれないほどでした。美味しい料理に地

元のお酒もすすみ、予定時間を大きくオーバーしてしまいました。

昼食後は、お昼に出されたお酒の酒蔵見学です。昼食時にたくさんいただきましたが、試飲コーナーで追加の一杯です。最後に土産屋さんに立ち寄り無事博多駅に到着しました。今年も楽しいバスハイクでした。バスハイクを企画して下さった役員の方、お世話いただいた MJS の皆さんありがとうございました。

（福岡地区会 空閑 秀樹）

ボウリング大会開催

脱力省エネ投法で勝ちとる

福岡地区会のボウリング大会が、令和6年9月13日（金）にパピオボウルにおいて開催されました。

この大会は今回で33回を迎え歴史ある行事となっており、過去幾多の名ボウラーたちが凌ぎを削った大会です。今回は昨年優勝の塚本会員、個人的なライバル石橋会員を左目に、過去7連続ストライクの記録を持つ笹田会員を右目にちらちらと入れながらのゲームとなりました。



個人優勝の東泰三会員

翌日か翌々日の筋肉痛を考慮して、脱力省エネ投法を取り入れ、力みのない腰にもやさしいフォームのおかげで筋肉痛になることは

ありませんでした。副産物として個人戦でも優勝をすることができ、大きな景品をいただきました。ありがたく使わせていただきます。今年は、小さなプレーヤーも現れ大変楽しい大会となりました。ありがとうございました。

表彰式を兼ねた懇親会も、拙い司会に毎度お付き合いただきありがとうございます。

（福岡地区会 東 泰三）



団体優勝

福岡地区会 ゴルフコンペ開催

自分の成長を実感

福岡地区会のゴルフコンペが、令和6年11月7日（木）に太宰府ゴルフ倶楽部において開催されました。

例年福岡カントリークラブで行っているところを今回は、気分を変えて高麗グリーンのかの地へ。事前参加はたくさんいらっしゃったのですが、日が近くなるにつれ、ひとり、ふたりとキャンセルがでて少し寂しい大会となりました。

天候は言い訳の利かない晴れ。10月の終わりから急に寒くはなりましたが、じんわり汗をかくくらいの気候で気持ちよくラウンドすることができました。調べてみると私が



優勝者の東泰三会員（右）



このコースを回ったのは12年前、まだゴルフを始めたばかりのペーペーでした。今回はハンディにも恵まれましたが、あの頃より20打以上縮め、見事優勝することができ、自分の成長を実感しました。

この記事ボウリング大会の次に来るのでしょうか、どちらも忖度なしで地区会長の私が勝っていると思っています。それとも地区会会員皆様の温情なのか…。

（福岡地区会 東 泰三）

大分地区会 研修会「中小企業の事業承継・M&A・経営者保証～法律上と実務上の留意点～」

テーマについてしっかり確認

大分地区会では、令和6年10月17日（木）J:COM ホルトホール大分において、MJS 税経システム研究所顧問であり、早稲田大学社会科学総合学院教授の川島いづみ氏によるセミナーを開催しました。当初の予定では大分で行う予定でしたが、急遽リモートによる開催となりました。

今回のセミナーは「中小企業の事業承継・M&A・経営者保証～法律上と実務上の留意点～」と題して、それぞれのテーマに沿って進められました。

まず初めに、2025年までに70歳を超える中小企業経営者約245万人のうち、約半分の127万人が後継者未定と見込まれており、このまま手を打たなければ650万人の雇用と22兆円のGNPが失われるというショッキングな話題から始まりました。その解決策として、第三者への事業引継ぎ（M&A）が有用である点と、それを手助けする支援機関の紹介や具体的な相談方法についての説明がありました。

次に、中小企業のM&Aでは、後継者となる第三者を探す方法として、仲介業者を利用する方法についての具体的な説明がありました。

また、M&Aを進めていくプロセスにおいては、株式譲渡と事業譲渡という2つの手法を比較しながら、基本合意からデュー・デリジェンス、クロージングに至るまでのリスクと留意点を解説していただきました。

最後に、「経営者保証のガイドライン」をもとに、中小企業庁の経営者保証に関する支援策についての説明がありました。中小企業においても、これからM&A等が増えていくものと思われます。

今回のセミナーでは、我々会計事務所ができる支援とは何か、どのように進めていくのか、等々のテーマについてしっかりと確認することができました。

（大分地区会 泉 比呂志）

大分地区会 日帰りバスツアー開催

日頃のストレス「駆逐してやる！」

大分地区会では、令和6年10月5日（土）に恒例の日帰りバスツアーが開催されました。今年は大分県日田市「高塚愛宕地蔵尊・日田ビール工場・豆田町散策」を巡る旅です。大人32名、中学生以下7名（最年少は生後5ヶ月の赤ちゃん）の39名の参加となりました。

バスは大分駅を午前8時に出発し、大分ICから一路日田方面へ向かいました。車内ではMJS大分支社のメンバーが企画したビンゴゲームやクイズで大いに盛り上がりしました。MJS大分支社の「X」のフォロワー数を当てる問題もありましたが、その数に一同は驚かされました。

大分駅を出発したときの曇天は、車内の雰囲気と相まって目的地が近づくにつれ次第に晴れ渡ってきました。

はじめに到着したのは高塚愛宕地蔵尊です。神仏混淆の形式をそのまま残している珍しい地蔵尊で知られ、諸事祈願成就に大変ご利益があるとされています。ただし、拝殿前までは327段の階段があります。一同その階段を前に自分の体調と要相談、ペースを考えて登ります。登りきった人には様々な神仏がお出迎えしてくださいます。たくさんお参りをして次の目的地へ。

休憩のために寄った「道の駅慈恩の滝くす」で



は目前に迫る滝から降り注ぐマイナスイオンをたっぷり浴びました。

昼食は、サッポロビール九州日田工場敷地内にある「日田森のビール園」でバーベキューと工場直生ビールを堪能しました。食後は併設されている「進撃の巨人 in HITA ミュージアム ANNEX」で進撃の巨人の世界観を楽しみました。作者の諫山創先生は日田市出身なのでここでしか見られない貴重な作品を見ることができました。

最後に城下町である豆田町に到着。近世後期の町人・商人町の面影を色濃く残す碁盤目の町並みをゆっくりと散策します。小腹の空いた私は本場日田焼きそばをいただきました。

大分県北部の涼やかな空気に包まれながら見学と食欲の秋を堪能したバスツアーとなりました。ご参加いただいた皆様お疲れさまでした。また来年も楽しい旅を企画しますので、ふるってご参加ください。

（大分地区会 岩尾 大輔）

熊本地区会 ゴルフコンペ開催

こんないい日はない！



令和6年10月11日（金）に開催された熊本地区会ゴルフコンペに7年ぶりに参加させていただきました。暑かった今年の夏を忘れさせるような爽やかな秋晴れの日となりました。

少数精鋭の参加となった今回のコンペ。ミドル

ホールを快調にパーでスタート、次のミドルをボギー、ロングをパー、ショートをパーと…ここでカートに表示された順位を見てしまいました。なんと首位争い！！頭中ぐるぐるです。

これから、ゴルフあるあるです（笑）。ゴルフは、上ってナンボのスポーツ。結果、ハンディキャップもありなんとか優勝。ハンディの少ない先輩が2位、辛くも1打差。うれしさ半分虚しさ半分でした。

それでも、同伴者の方との交流も深まり、ゴルフ以外にも楽しい一日でした。

最後に、春秋開催される熊本地区会のゴルフに次回も参加させてください。よろしくお願いいたします。

（熊本地区会 北里 克明）

長崎地区会

温泉湯巡りとランチ BBQ 日帰りバスツアー

楽しい有意義な一日

長崎地区会では令和6年9月28日(土)に「アイランドナガサキ(伊王島)温泉湯巡りとランチ BBQ 日帰りバスツアー」が開催されました。バスハイクは例年11月に開催しておりましたが、海辺でBBQを愉しむ趣旨もあり9月の開催となりました。

今回のバスハイクには7事務所36名の皆様にご参加を頂きましたが、当日は晴天に恵まれ、最高のバスハイク日和でした。久しく長崎伊王島には行ってなかったので、私もとても楽しみにしており、最高のお天気でホッとしました。今回はお子様の参加も多く、車内にもぎやかでアットホームな雰囲気の中、あっという間に現地に着きました。まず目についたのは、セグウェイや4輪バギーなど、大人でも楽しめる設備です。行列が出来るほど盛り上がっていました。しかし私のメインの目的は大型温泉スパです。長崎伊王島には複数の屋内スパや屋外スパがあるのです。頑張ってみました。とても一日で回るのは無理でした。全てのスパに



入れなかった事が心残りです。

お昼は、海辺のテラスでのバーベキュー。ボリュームたっぷりでお腹いっぱいになりました。本当に楽しい時間を過ごす事が出来ました。

最後に全員で記念撮影をした後、バスで帰路へ。とても有意義な一日でした。今回のバスハイクが皆様の素敵な思い出になれば幸いです。皆様お疲れ様でした。次回も是非ご参加ください。

(長崎地区会 草野 恒史)

研修会「個人課税の謝りやすい点について(その2)」

満員御礼の受講者数



令和6年12月2日(月)アルカス佐世保にて「個人課税の謝りやすい点について(その2)」と題しまして植田卓先生による研修会が開催されました。

当日は、植田先生の研修ということもあり、佐世保、長崎から多くの先生や職員の皆様にご参加

いただきました(来場9事務所19名、ウェブ参加者17名)。あやうく会場に入りきれなくなる所でヒヤリとしましたが、ギリギリ収容できました。

内容としては、分離譲渡所得を中心としたケーススタディ形式で行われ、具体的な事例を用いて大変わかりやすく説明していただき、あっという間の3時間でした。

また、研修会の後は佐世保ワシントンホテルにて、九州ミロク会計人会長崎地区会の忘年会が植田先生をゲストにお迎えして開催されました。食事もお酒も美味しく、日頃あまり会えない佐世保の先生方との交流も深めることができ、有意義な時間を過ごすことが出来ました。大変盛り上がった忘年会でした。

(長崎地区会 草野 恒史)

佐賀地区会

研修会「外国人材の登用と税務」

注意すべき点を確認

令和6年10月4日（金）佐賀市のホテルグランデはがくれにおいて、講師に MJS 税経システム研究所客員研究員で税理士の望月文夫氏をお招きして「外国人材の登用と税務～在留資格の確認、ハローワークへの届出、そして居住形態の判定～」というテーマで3時間の研修会を開催いたしました。

講義では、最初に外国人雇用に関する届出などの手続きや就労が認められる要件などを解説していただきました。この辺りは税理士には馴染みがない事が多いので、専門家（行政書士等）などに相談することを推奨されていました。後半は、居住形態の判定、租税条約の適用、雇用と税務など私たち税理士の領分となりますので、具体例を交えて丁寧に解説して頂きました。

近年は、雇用のみでなく不動産の所有者が外国人である場合が増えてきており、非居住者で一定



の要件に該当する外国人への家賃の支払いは源泉徴収をする必要があるなど、実務上で注意すべき点を確認できたので今後の業務に生かしていきたいと思います。

（佐賀地区会 池田 健一）

鹿児島地区会

研修会「相続税・贈与税における

納税猶予制度の概説」

事例を交えて分かりやすく解説



令和6年9月27日（金）鹿児島市の TKP ガーデンシティ鹿児島中央において、研修会が開催されました。

MJS 税経システム研究所客員研究員で税理士の武田秀和先生を迎え、「相続税・贈与税における納税猶予制度の概説～知っておいて損はない納税猶予制度のポイント～」についての解説でした。

会場に入ってまず感じたことはいつもの会員の税理士の皆さんがいないことです。一人だけ浮いたようでさみしさを感じつつ、3時間ほど着席していました。

冒頭で生前贈与が3年前までを相続税の申告になっていたのが、7年前までに変わったと聞き、税務上の付き合いが短い期間の被相続人の相続税の申告には注意事項が多くなったと感じました。過去は大口の事案が無かったので猶予については、念頭になく申告手続きを行っていました。

この度の研修で、現時点での自分の能力では納税猶予が発生するような事案は回避し、納税者とのトラブルの無いようにしたいとつくづく実感しております。

（鹿児島地区会 泉 國昭）

令和6年12月9日、九州会システム開発委員会とMJS本社開発担当者との間で、恒例になっていますシステム改善要望検討会を開催しました。今回も事前に会員の皆様に改善要望アンケートを取らせていただきました。会員の皆様、たくさんの改善要望を頂き、ありがとうございました。

今回の検討会では、アンケート結果に対するMJS回答を委員各自に事前確認していただき、事前にピックアップした項目を中心に集中的な検討を行いました。要望の意図を確かめながら、将来に向けて開発の参考となるような協議をすべく努めさせていただきました。

本誌には掲載しておりませんが、MJS開発から対応不可、参考との回答になっていました内容も実務的に使用頻度が高いと思われる内容については、再検討を依頼しています。

今回も紙面の都合で「会計大将」「所得税確定申告」「減価償却」「申請・届出書作成」の回答を掲

載させていただき、次号（6月号）に他のシステムを掲載します。

紙面の関係上、改善の「対応済み」「対応予定」「運用で対応可能」を中心に掲載しております。そこで、今回も全ての改善要望につきまして、質問内容および回答について今春を目途に九州ミロク会計人会のホームページ『会員の部屋』にアップする予定です。

全体は、ミロク会計人会連合会のホームページに、年2回機能追加一覧をアップしています。こちらも是非ご確認ください。

九州ミロク会計人会

<https://www.kyushukai.ne.jp/>

ミロク会計人会連合会

<https://www.mirokukai.ne.jp/>

Q&Aの記載方法

NX…ACELINK NX-Pro

◎…対応している

○…対応する予定

■…運用で対応可能

△…調査・検討

会計大将

Q-1 (NX ◎)

総勘定元帳や補助元帳に表示される月計と、その金額を網掛けする又は表示されないように、出力時等に任意に選択できるようにしてほしい。元帳を出力した目的によっては、月計は便利になったり、その表示が邪魔に感じたりするため。

A 仕訳入力の指示から「5.元帳」ですと不可ですが、印刷処理の元帳からは「条件」ボタンで「月計」のチェックを外すことで任意に出力の有無を設定できます。

Q-2 (NX ■)

免税事業者からの仕入につく☆マークを仕訳入力時の一覧や、財務報告書のF1元帳の一覧時にも表示してほしい。仕訳を選択しないと☆が見えないより一覧で確認できると助かります。

A 消費税コード欄の右隣りに事業者取引区分を出力しております。免税事業者からの仕入につきましては、こちらで区別していただきますようお願いいたします。

Q-3 (NX ■)

特殊摘要自動表示（今回部門）を利用しているとき、仕訳入力で借方が複合など部門を使ってないときにも、

上段の摘要をコピーしたときには特殊摘要の部門もコピーさせたい。

A 特殊摘要の情報は文言ではなく[借方部門][貸方取引先]という形で保持している性質上、そのままコピーすることはできません。コピーされたい場合は、対象の特殊摘要を「F8 固定摘要解除」から解除して通常の文字列にいただき、その上で摘要コピーされる運用をご検討ください。

Q-4 (NX ◎)

クレジットカード明細の取込を（簡単に）できるようにしてほしい。

A AI-OCR 入力にクレジットカード明細の取込み機能が追加されましたので、こちらをお試ください。

Q-5 (NX ■)

固定摘要の登録文字数制限を増やしてほしい。
インボイス番号まで登録したときに文字数が足りなくなることがある。

A 取引先での運用をご検討ください。弊社としましては固定摘要ではなく取引先での運用を推奨しております。また、取引先の正式名称は全角 30 文字ですのでご要望されている運用が可能です。

Q-6 (NX ◎)

各勘定科目の元帳を開いて入力内容を確認する際に、前はマウスでスクロールできていたのが出来なくなってしまった。スクロール出来るように戻してほしい。

A 三期比較推移損益計算書からのドリルダウン後にスクロールが出来ない現象が過去発生していましたが、2024/6/24 のアップデートで不具合対応いたしました。ご不便をおかけし申し訳ございませんでした。

Q-7 (NX △)

【三期比較損益計算書】

月次実績と累計実績が表示されるが、条件で累計の設定にした場合、月次実績と累計実績に同じ数値が表示されるため、月次実績と累計実績どちらかだけが表示されるようにしてほしい。

A 累計で期初から N 月まで範囲指定した場合は、月次実績と累計実績は同一になりますが、期初以外から N 月までの場合、月次実績と累計実績は異なりますので、基本的に現状のままとさせていただきますが、出力条件設定ダイアログに月次実績の表示 / 非表示チェックボックス

を新設し切り替えることは可能だと思いますので、優先順位を確認したうえで、今後の対応を検討して参ります。

Q-8 (NX △)

決算更新で翌期データ作成後に当期の科目情報等を変更した場合、科目情報等の変更部分も翌期に移送できるようにしてほしい。

A 残高再移送時に移送できないマスターについては、マスター変更のエラーリスト等に出力する対応を検討いたします。

なお、残高再移送の移送条件については「F1 移送条件設定」で設定可能となっておりますので、ご確認をお願いいたします。

Q-9 (NX ◎)

定型仕訳登録で事業者区分まで登録できるようにしてほしい。仕訳入力ー検証ー科目別集計（摘要残高）

A 定型仕訳で事業者区分を登録できるよう対応いたします。

Q-10 (NX ■)

F1 の元帳表示を期首からも表示できるようにしてほしい。

A 検証の残高試算表において、摘要残高が存在する科目を選択すると、ファンクション「F7 摘要残高」が表示されます。この機能により、摘要残高の確認が可能となっておりますので、ご確認をお願いいたします。

Q-11 (NX ■)

勘定科目をコード入力ではなく、文字検索できるようにしてほしい。

A 科目に登録されている連想より検索することができますので、そちらをご利用ください。

Q-12 (NX ◎)

日付と金額を基に重複仕訳がないかのチェックをする機能をつけてほしい。その際に手数料や旅費交通費はチェックから除くなどできると良いと思います。(free やマネーフォワードには搭載されている)

A 会計大将オプションの AI 監査支援をご活用ください。

Q-13 (NX ◎)

仕訳入力の元帳表示の条件に免税事業者取引を追加してほしい。

A 仕訳入力元帳において、事業者区分を条件指定できるようにしました。

Q-14 (NX ◎)

会計データ（仕訳）のインポート形式、エクスポート形式で、金額・消費税コード・消費税率・免税事業者区分を借方・貸方を別にしてほしい。

A インポート・エクスポートそれぞれに各項目をご準備しております。不明な場合は支社までお問い合わせください。

Q-15 (NX ◎)

仕訳コピー

チェックボックス範囲で選択できるようにしてほしい。

A shift や ctrl キーを押すことで範囲選択が可能となります。

Q-16 (NX △)

決算書の個別注記表は、報告用と電子用で分けずに統一してほしい。

A 当ご要望は以前からいただいておりますが、優先度の関係から繰り返し審議して見送りとさせていただいております。現状の仕様になっておりますのは、先行して紙の注記表があり、後から電子用の注記表を機能追加することとなったため別機能として実装したためです。今後も引き続き対応は検討して参りますが現時点ではリリース時期は明確にすることが難しい状況です。

Q-17 (NX ◎)

勘定科目を追加したら、自動で決算書に追加され、科目の紐づけも自動でしてほしい。

A 勘定科目の一覧画面の「F1 新規登録」から科目を追加する場合、コピー元科目が既に決算書や電子決算報告書関連情報を含む科目出力順序に登録済みであれば、追加科目がそれらに自動で登録される仕組みとなっておりますので、お試しください。

Q-18 (NX ①△②×③△)

三期比較損益計算書において、累計実績のみの選択ができるようにしてほしい。前々期と当期の増減額表示も追加してほしい。また、3期以上の比較もほしい。

A ①出力条件設定ダイアログに月次実績の表示 / 非表示チェックボックスを新設し切り替えることは可能だと思いますので、優先順位を確認したうえで、今後の対

応を検討して参ります。

②レイアウト上、列を追加すると数字が潰れてしまうと思いますので、見送りとさせていただきます。

③5期比較の要望が寄せられているため、対応を検討している段階となります。

Q-19 (NX ◎)

部門と補助科目を同時採用しているデータについて、残高試算表等の表示の際、部門と補助科目を同時に表示できるように対応してほしい。

A 部門別表示⇒補助、補助表示⇒部門でご確認ください。

Q-20 (NX ◎)

データ連動、汎用データ交換について、データの連動設定（科目の紐づけ）等を他社で連動するときにコピーできるように対応してほしい。

A パターンの上で右クリックすることで設定内容を出力、入力が可能です。具体的な操作に関しては支社担当者へお問い合わせください。

Q-21 (NX ■)

勘定科目－科目補助－部門－固定摘要を指定した元帳出力・残高確認ができるようにしてほしい。

A 共通設定 / システム共通設定 / 仕訳操作情報 / 実績金額の更新方法を「仕訳の更新直後に反映する」に設定いただければ元帳から戻ったタイミングで更新がかかりますので、こちらの運用をご利用ください。

Q-22 (NX ■)

2印刷処理→推移財務報告書もF7で摘要が出るようにしてほしい。

A 科目出力順序において、摘要の出力有無を設定することが可能となっております。こちらで摘要の出力を「あり」に設定していただければ摘要を表示することが可能です。対象帳票につきましては、ヘルプにてご確認をお願いいたします。

Q-23 (NX ◎)

会計大將の定型仕訳登録で、免税事業者等取引まで登録できるようにしてほしい。

A 定型仕訳で事業者区分を登録できるよう対応いたします。

Q-24 (NX ■)

会計大将の固定適用で、長く使用していないものがあればわかるようにしてほしい。

A 固定摘要ユーティリティにて、今期使用していないものをピックアップして一括削除が可能です。

Q-25 (NX △)

元帳や仕訳日記帳を、e-Tax 形式の csv 出力できるようにしてほしい。

A 仕訳日記帳や元帳というのは e-Tax の仕様上存在しないので、電子申請で調査関係書類という手続きで CSV を送信したいという要望のこととして回答させていただきます。現状、e-Tax ソフトでは CSV を添付できますが、NX-Pro では現状できません。この点について、対応を検討させていただきます。

Q-26 (NX ■)

仕訳入力の際、消費税のコードの入力修正時に、業種区分の変更もできるように対応してほしい。

A 変更の頻度はあまり高くないと思われますので、お手数ですが一行型修正からの変更をお願いいたします。業種の変更件数が多くなるようでしたら、一括置換との併用をご検討ください。

Q-27 (NX ◎)

NX-Pro と連携して CE 会計を使用している顧問先で、顧問先主体の運営設定をしており、登録関係の権利も全て顧問先にしているのに、CE 会計側で科目別消費税登録の設定は変えられない為、NX 側で登録設定変更・差分送信→CE 側で差分受信をしても、設定が反映されない。

差分受信後、マスター再計算で 消費税コード再セットを入れようとしても、差分データではできません的な事が表示されます。

消費税設定の権利を CE 側につけられないのでしょうか。もしくは差分送受信でも設定を反映させられないのでしょうか。

A 科目別消費税の登録については、消費税申告に係る登録のため事務所側のみで登録できるようにしております。科目別消費税登録の設定は事務所側で登録し、差分送受信で CE 側に設定を反映することが可能となっております。もしお客様の環境で反映しないようでしたら詳細をお伺い出来ればと思います。

Q-28 (NX ○)

Excel 出納帳の行数がデフォルトで 40 行しかないの

で、200 行などに増やしてほしい。

A 今後のメンテナンスで対応する方向で調整致します。

Q-29 (NX ○)

租税公課の消費税をデフォルトで不課税にしてほしい。

A 今後のコードマスターメンテナンスで対応したいと思います。

Q-30 (NX ■)

Ctrl + X で切り取りができるともっと楽になると思う。ぜひご検討をお願いします。

A 仕訳入力をはじめ、各入力欄では Ctrl+X、Ctrl+V による切り取り&貼り付けが可能になっております。ご要望されている内容と異なるようでしたら、詳細をお伺い出来ればと思います。

Q-31 (NX ■)

定型入力がとても助かっています。できれば、入力している段階で次月からの変更が確定している場合、次月からの定型登録内容の変更をその場でできる機能を付けてもらいたいです。(入力時に修正を選ぶモードになればいい)

A 定型仕訳を使った入力中でも定型仕訳登録を起動することができますので、そちらからの運用をお願いいたします。

Q-32 (NX ■)

定形仕訳登録で、金額をクリアするかクリアしないかを仕訳ごとに選びたいです。

A 入力済み仕訳から定型仕訳を登録するときは、金額をクリアしないで作成していただき、定型仕訳登録にて各仕訳明細ごとに不要な金額をクリアしていただく運用をお願いいたします。

所得税確定申告書

Q-33 (NX △)

会計大将で部門別に入力した損益計算書等を所得税確定申告書の決算書へ部門別に連動できるように改善してほしい。減価償却は部門別(「農業」「不動産」など)に連動できていますので同じイメージです。

現在は部門別損益計算書を紙出力して手入力しており

ます。個人確定申告の一番の繁忙期なので改善いただけ
ますと非常に効率的になり生産性が向上します。

A 部門連動については、会計システム側の対応作業
やシステム構造および運用面（貸借対照表の扱い等）を
勘案した設計・仕様変更が必要となり、対応には調査・
検討等にも時間を要します。会計システム側の開発計画
やシステム間の調整も必要なため、現時点では対応時期
を明確にすることはできませんが、対応方法・対応時期
等を含めて検討するようにいたします。

Q-34 (NX ◎)

ふるさと納税の前期分が繰り越された場合に、一括削
除できるように改善してほしい。

A 令和5年分申告用プログラムの機能改良として、
申告書第二表の〔寄附金〕タブのすべての寄附金の明細
を一括削除する機能を追加しました。寄附金の明細を一
括削除する場合は、〔明細編集 (D)〕ボタンの〔寄附金
明細全削除 (Z)〕ボタンをご利用ください。

Q-35 (NX ◎)

所得税確定申告書の印刷時、法人税申告書で別表1の
み印刷できるように、指定した所のみの印刷に対応して
ほしい。

A 印刷画面で該当の帳票のみ☒をつけることで、指
定した帳票のみ印刷をすることができます。

Q-36 (NX △)

申告書等印刷

印刷選択のリストボックスの☒又はの横に番号（固定
番号）をつけて選択しやすいように変更してほしい。

A 帳票番号の付番については、他からも同様のご要
望をいただいております。システムの利便性の向上に繋がる
ものと認識致しますので、税制改正対応および他の機能
改良案件の優先度やスケジュールを考慮した上で、対応
方法・対応時期等を含めて検討するようにいたします。

減価償却

Q-37 (NX ■)

少額減価償却明細書で過去の資産を打ち出すときに除
却したものは抽出しない条件も入れてほしい。

A 物件条件検索で次のような条件の検索パターンを
登録後、少額減価償却資産明細書の出力条件設定で該当

検索パターンを指定していただくことで、除却した少額
資産を除いた明細を出力することができます。

検索方法：単一検索

検索項目：除却・売却区分 = 0（除却・売却なし）

Q-38 (NX ■)

取得日等に 060601 と入力すると、平成6年6月1
日となる。令和にしてほしい。

A 過去に取得した物件を連続して登録するケースも
あるため、物件登録起動時は「R（令和）」を初期表示し
ていますが、以降、物件登録を終了するまでは前回入力
した取得日の元号を初期表示しております。

今後、常に現在の元号を初期値とする対応を検討いた
しますが、一度、取得日を入力する際に「R」を手入力
していただくことで次回以降は「R」が初期表示されま
すので、現時点ではそちらの運用をお願いいたします。

申請・届出書作成

Q-39 (NX △)

届出が動作が遅い。保存も次の届出を作成するにして
も必ず時間がかかる。

A 申請・届出書システムでは一つの様式の表示や動
作を実現するために複数のファイルを参照する仕組みと
なっています。各ファイル内の項目の情報を紐づけるた
めのプログラムが複雑に動作しているため、操作感が重
くなっています。

プログラムの構造が複雑であることや全ての様式の表
示や動作に影響を与えてしまうことから慎重に調査・対
応を行う必要があります。調査は進めてまいります、
現時点では参考とさせていただきます。

Q-40 (NX ◎)

届出書等のうち、電子申告非対応の届出書等を電子
申告できるようにしてほしい。

A e-Tax で対応していない国税関係手続について、書
面での提出に代えて PDF に変換した申請書等を添付し
て電子申請を行う手続として「イメージデータで送信可
能な手続」というものがあります。

ご指摘の帳票は「イメージデータで送信可能な手続」
で電子申請することができます。

追悼のメッセージ

元九州ミロク会計人会会長

船越久人先生を偲んで

福岡地区会 外園 令明



令和6年10月17日の夕方、船越先生の娘さんと仲が良い方から「悲しいお知らせが入りました。船越先生が」ここまでのLINEが来ました。船越先生がどうしたの？とLINEしてから25分後に「亡くなったそうです」との続報。すぐにMJS福岡支社、税理会に連絡しても「船越事務所から何も連絡ありません」とのこと。MJSの桑原さんが船越先生の事務所に連絡をしてくれて先生が亡くなって、明日が通夜だそうですと報告を受けました。大ショックでした。

船越先生は16日の夕方、いつものように仕事から帰宅されたそうです。夜になって急に苦しまれて病院に搬送され、心臓マッサージなどの処置をされたそうですが、その甲斐なく病院に着いて2時間くらいで亡くなられたそうです。死因は心筋梗塞だったそうです。

船越先生に初めて会ったのは、いつだったかな～。たぶん35年くらいお付き合いをさせて頂いたと思います。九北税理士会では、税理士制度50周年記念特別委員会で一緒に博多どんたくに参加し、制度部でも平成13年までご一緒させていただきました。ミロクではシステム開発委員会で、ず～っと一緒でした。船越先生が九州会のシステム開発委員長の時始められた「ACELINKのよか使い方」の研修会は大好評。今でも同様の演題で研修会が継続されています。九州ミロク会計人会のシステム開発委員会が本社の開発に、いろいろと改善要望を出して、好意的に回答してくれているのは、初代システム開発委員長の城先生と船越先生のお陰です。

腎臓が悪いから人工透析をされると言われたのは、平成10年くらいだったと思います。あれだけ汗っかきで夏になると水をがぶ飲みされていた先生が、人工透析で水分制限が入ったと、喉を潤すためにキュービックアイスを大事そうに口に入れていた姿を思い出します。週に月・水・金の3日、人工透析に通われていたので、遠出がしにくくなり、東京で開催される連合会の委員会も船越先生が金曜に透析をして、土曜の朝の便で上京するという特例で土曜に開催していました。

連合会のシステム開発委員長を退任されてからは、遠方で開催される統一研修会も欠席されることが増えました。思えば、税理士会では制度部長を、ミロク会計人会連合会ではシステム開発委員長を船越先生から引き継いできました。あとは任せたいと言う感じだったと思います。

今でも「おい、ほかちゃん。なんばしよっとね」と声を掛けられている気がします。76歳での旅立ち。せっかちの船越先生らしいかな。でも早すぎませんか。

合掌

今年の干支「乙巳（きのとみ）」は、「伸び切った枝葉を糧にして、業火が起こる年」だそうです。

飛鳥時代 645 年には中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我入鹿を討った「乙巳の変」が起こり、これをきっかけに大化の改新が始まりました。

昨年の選挙の結果少数与党政権となり、今年は大きな変化の年となります。収入の壁の見直しについてなど今まではおこななかった議論が活発におこなわれています。米国新政権への対応をはじめ難しい政権運営を強いられそうですが、国民の声に耳を傾け、野党との活発な議論

「乙巳」の年

◆福岡地区会

空閑秀樹



を願いたいものです。

「乙巳」の今年、漫然と続いたデフレで低成長の時代から脱却し、復活の年となることを願います。

編集・後記

2024 年は、能登半島地震が新年早々発生し、多くの犠牲者・被災者を出しました。また、9 月には大雨による災害も発生し、現在も避難生活をされている方が多くいらっしゃいます。心よりお見舞い申し上げます。

一方、スポーツ界では大谷翔平選手やパリオリンピック・パラリンピ



ックでの日本人選手の活躍には大きな感動をもらいました。

2025 年は、トランプアメリカ大統領の就任、日本では少数与党による政権運営など、大きな変革の年となるかも知れません。

税理士業界でも IT や AI の進歩が実務に与える影響も増々大きくなります。私も取り残されないよう MJS の『AI-OCR 入力』を駆使して業務に励みたいと思います。

（佐賀地区会 池田 健一）

令和7年度3月認定研修開催予定のご案内

*講師はMJS 税経システム研究所所属です。*ハイブリッド開催は、会場受講とweb受講の選択ができます。

申込方法

Web研修会は、MJSのホームページよりお申込みください。

*開催1~2ヶ月前にホームページへ掲載いたします。

① MJSホームページ(<http://www.mjs.co.jp/seminar>)の『セミナー一覧』

あるいは右記のQRコードからお申込みください。

ご不明な点はお問い合わせください。(事務局電話番号:092-481-3285)

② 申込みページで、氏名、メールアドレス等必要事項を入力します。

③ 受付完了のメールが送付されて完了です。

*受付完了メールが届かない場合は、メールアドレスをご確認の上再度お申し込みください。



主催：九州ミロク会計人会

※九州北部税理士会・南九州税理士会認定申請予定

※日本FP協会継続教育単位認定申請予定

企画地区会	日時	認定時間	行事内容	講師等	開催形式
1 長崎	3月21日(金) 13:30~16:30	3	小規模宅地等の特例解説 ~損害賠償請求を受けないために~	税理士 中島 孝一 氏 MJS 税経システム研究所客員研究員 中島税理士事務所 所長	ハイブリッド
2 筑後	3月25日(火) 13:30~16:30	3	役員退職給与に関する税務上の留意点	税理士 武田 秀和 氏 MJS 税経システム研究所客員研究員 武田秀和税理士事務所 所長	会場
3 福岡	3月27日(木) 13:30~16:30	3	自主廃業の法務・会計・税務の実務と事例研究法	公認会計士 税理士 棟田 裕幸 氏 MJS 税経システム研究所客員研究員 一番町共同会計事務所 統括代表パートナー 株式会社 BSM 代表取締役	ハイブリッド
4 熊本	3月27日(木) 13:30~16:30	3	令和7年度税制改正の概要解説	税理士 中島 孝一 氏 MJS 税経システム研究所客員研究員 中島税理士事務所 所長	会場

ミロク会計人会×ミロク情報サービス 共同企画

ミロク会計人会 『会員限定』

AI-OCR入力「使ってみよう」

全会員事務所 AI-OCR入力利用料(1枚10円) 3ヵ月無償

*対象システムをご確認ください。

期間:2025年1月~3月のご利用分

無償:上記、利用分の請求から値引をいたします。

■対象システム*

会計大將で月200枚分×3ヵ月を無償利用(6,000円相当)

所得税確定申告で月200枚分×3ヵ月を無償利用(6,000円相当)

※従来の会計50枚、所得税確定申告10枚のお試し利用とは別に無償となります。

■応募条件

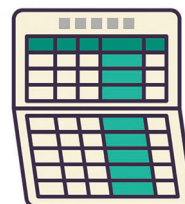
お申込不要です。

ミロク会計人会会員事務所全てが対象です。

■ご請求

各システムのご利用分から毎月上限200枚分を値引きいたします。

(問い合わせ先) 担当支社までお願いいたします。



通帳は見開き
1ページが1枚
とカウント